

梅鶯仏教壮年会報

第174号
2022年
1月16日

仏壮例会

一月三十日(日)

午後五時より

お勤め
法話『浄土真宗のみ教え』

え

人生 * 浄土への
仏教讃歌斉唱

慈悲がさらに慈と悲の2つに分かれる
と、説かれていたこと。

簡単には言えませんが、悲はもう頑張らなくても良いと
言うこと。

五木寛之

花を支える枝 枝を支える幹
幹を支える根 根は見えないんだ

新年のご挨拶
会長 北村新一



新年のご挨拶
超える十年ぶりの大雪の中での令和4
年度の始まりとなりまし。お慶び申し上
お迎える方には穏やかな新年を
げます。我が家では、家族揃って例年
通り、ご仏前に参り、正信偈、
和讃、御文章の拝読をして、ま
新しい年のスタートとなりま
した。阿弥陀様、ご先祖様に、感
謝の意を唱えつつ、健康と安
穩なる生活が続くようにと念
じました。令和3年度の梅鶯仏壮活動
も、コロナ対策として簡略化
の会が多く、皆様方にはご不
満だつたでしょうが、二ヶ
月毎の例会、1月6日の永代
経法要、1月21日の除夜の
講行、1月25日の豊原真
人師を恩講の講師に、幸福の定義』
と題して、”あたりまえを受

会の更新が必要となりまして、講習
が認知症試験の後で二次試験
が検査の結果が最低で気分視
最悪でした。事故報道が多い
中、高齢者の被害者も単に気
の毒に他人の事として扱って
いましたがる自分自身がない
という事実が、数字として現
わさる現実が、安全運転にと、
必要以上心がけて参りま
す。波が新型ウィルスを含め、第6
波が始まったとのニュースも
ありましたが、本年度も工夫を
こらして年間行事予定を実施
したいと思つております。協
力の程よろしくご理解、ご協
す。仏壮会報になりましたが、梅鶯
しいる長野住職様には、感謝申
前に会報に接してるので、同じ仏

題材法話

浄土真宗のみ教え ⑮ 「愚者のよろこび」

*拝読「浄土真宗のみ教え」の22頁をお読み下さい。

一般的に宗教といえ
戒律を守り、善き人
なることをすすめ、そ
れが救いの条件とも
なります。
仏教でも基本は、善
行を積んで煩惱を断
じ、悟りを得て寂静の
境地に至るのが目的で
す。

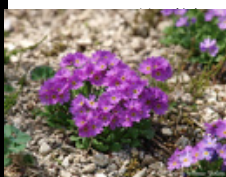
ところが浄土真宗で
は、法然上人は「愚者
になり、親鸞聖人は「善
なり、ほもつて往生は
ぐ、善いではや悪人
（善人）でさえ浄土に
生でいる、まして
は「うまでもあし
らん」と悪人正し
はたしてこれ



他人から好ましく思
われないでしよう。そ
こには自らの善人と考
える驕りの心が「ある
から対して他人から信
さされる人というの、直
間違いなく自らに愚直
な人です。
ん妙好人の浅原才市さ
像画がよくも似ていた
周、一人のたちから言
れ、間では「ない」と
人、角を描き加えても
て、つたというエピソード
ら、つたというエピソード
ド、親鸞聖人は「賢者
の信は、聖人は「賢者
外、は「愚なり。愚禿が心
は、内は「愚に自らを厳し
賢なり」とおられま
く断じて浄土真宗で
う「愚者」は、や「法
といふ、善悪をいう
社、会的、道徳的
的、な善悪をいう



「六波羅蜜へろつばらみ
つ」と呼びます。
そのどれもが厳しい
ものばかりで、例えば
2番目の「持戒」によ
り殺生が禁じられま
す。
私達は殺生はよくな
い事と理解できて、な
生きるための殺生には
無頓着でいます。私は
「いかなるのくぎ煮」
や「うろりの佃煮」が
好物なので、煮「が
好みで、どれほどの命
まみでいること、しよ
うか。
を生涯どれほどの殺生
を重ねて、六波羅蜜と
ると、生きたまま、程
遠い生きたまま、程
仏教が示す縁起の道理
からいかなる「や「う
「いかなる「や「う
とり「の立場に転
とも十分にあるに
い考えられ、真に
法律を守って



○愚者になりて往生す
もしも、この「愚
者」や「悪人」とい
うだけに、留まってい
なければ、私たちは救
れようのないどん底の
状態でしょうか、自
ん。親鸞聖人が自らの
行き先を、一「地獄は
定、すみかぞかし」
（地獄）と仰せられた
ない）と仰せられた通
り、このどん底の状
ある愚者を救うとい
う本願を建てられた
が南無阿弥陀仏とい
仏さまなので、念仏
ない、この私を救う
往生の道が成就され、
私達にとつては「念
にまさるべき善」は
いのです。
から救いたたい愚者
があるから、私が救
るのです。浄土の教
は、浄土の教えを仰

